

### 5 新春合宿・第4回拡大理事会

#### NPOが運営する完全バリアフリー旅館で 充実の2日間

1月13日(金)～14日(土)に、恒例の新春合宿を行いました。今回は新たに会員となった「NPO法人 障がい児者、高齢者を癒し支援する会」が運営する完全バリアフリー旅館「NPO癒しの宿 福の神 吉良の庄」を会場としました。

1日目は旅館料理長による三河湾の魚介類をふんだんに使った特選料理を味わった後、交流会で吉良町の観光振興を中心とした話し合いが行われました。

2日目は朝から障がい者による美術展示をはじめとした施設見学を行った後、評議員も交えて第4回拡大理事会を行いました。午後は2012年度の事業計画を5つのグループに分かれてワークショップを実施。次年度の活動につながるさまざまな意見、アイデアが発表されました。(阿部)



▲NPO癒しの宿 福の神 吉良の庄

▲拡大理事会

### 6 新春交流会

#### パートナーシップ“入門編” 《新春交流会》

1月30日(月)、初めて協働しようとする方にも、交流をエンジョイしてほしい…そんなコンセプトで、今回は30名を超えるNPO・企業関係者で盛り上がったPSC新春交流会。パンドラの会さんにご協力いただいた、心のこもったオードブルが花を添え、開始時間を待たず会場はにぎやかな雰囲気。

参加者が一人ずつ自己紹介および団体のPR。その後、軽快なBGMに合わせ、参加者が輪になって場内を行進しながら6～7名ずつチームに分かれ、即興で“協働アイデア会議”。すると、会場のあちこちで「協働したい!!」の声が上がり、まさに「協働お見合いパーティー」のノリ。中には5団体からお誘いのかかるモチモチの団体も。今年も素晴らしい協働が生まれそう…そんな予感がした1日でした。(成瀬)



### PSC代表岸田の“東へ西へ”(2012年1月2月)

年末年始の休暇を少し延長して娘のいる上海で過ごし帰ってくる、事務所はすでに本格始動。上海から事務所に年始のメッセージは送っていたものの、新年気分もそこそこ年度末に向けてのさまざまな事業がめまぐるしく展開し始めた。

1/12(木)には、「新しい公共支援事業」第3回協働ネット会議を開催。27日(金)の協働ネットワークフォーラム開催本番に向けて運営委員会としての準備を整えた。1/13(金)～1/14(土)はPSC恒例の新春合宿を、新しく会員になっていただいた「NPO癒しの宿吉良の庄」(西尾市吉良町)で開催。三河湾を望む立地もさることながら、車いすでそのまま入れる風呂を備えた全館バリアフリーの立派な施設にまず驚き、自閉症など障がいを持つ子らの素敵な絵などを展示する部屋にまた驚かされた。新春合宿も1998年から数えて15回目。名古屋からはちょっと遠くて宿泊者が少なかったのは何と残念だったが、2日目の拡大理事会には理事さんたちも集合。午後からのワークショップで具体化できそうな事業も見えてきた。とはいえ、今年度実施のいくつかの事業の終了予定もあり、中間支援NPOの経営は常に厳しい。

1/20(金)には京都で「企業とNPO協働のフェスタ」の基調講演をさせていただき、午後と同じ場所で講演された堀田力さわかや福祉財団理事長と「第4回パートナーシップ大賞」以来の再会。1/21(土)は「運営力パワーアップ研修」最終回。1/27(金)は「新しい公共支援事業」協働ネットワークフォーラムの本番。会場はまさにあふれんばかりの熱気で、2010年に名古屋で実施して大好評だった「コラボ400」を、愛知県事業としてさらに継続実施できたことを、企業とNPOの協働を仕掛けてきたPSCとして誇りに思う。1/30(月)はこれまた恒例となったPSC新春交流会。はじめて会場を8階に移して実施した。

2/8(水)「パートナーシップ大賞」運営委員会。(平日の開催ははじめて?)第8回の総括と次回は「第9回“日本”パートナーシップ大賞」とすることを決定した。2/10(金)には「SB&企業の連携推進事業」第3回ハンズオン支援で広島へ。同時に企業や

NPO、行政対象に「CSRの価値を高める」と題して講演。2/14(火) (株)真誠の「第1回CSR研修」で、ステークホルダー・ダイアログ(SHD)に基づく改善提案を、トップを含め23名に説明、CSR推進に向けて一歩を踏み出した。2/15(水)は「SB&企業の連携推進事業」で栃木へ。2/16(木)は三井物産中部支社のSHDに出席。2/17(金)「新しい公共支援事業」協働ネット会議最終回。参加者みんながフォーラムの成功を喜び、次につなげようという活発な意見交換となった。2/19(日)はおうみ未来塾運営委員会で滋賀県大津へ。2/21(火)はまたまた京都(「SB&企業の連携推進事業」成果共有・交流)へ。2/22(水)はPSC自主事業として「NPO法人会計&認定学習会」。早坂講師と旧交を温める。2/24(金)南部薬品(株)第10回CSR委員会で岡崎へ。2/25(土)「SB&企業の連携推進事業」第7回検討会議はいよいよノウハウ移転のマニュアルづくりの最終段階に入る。2/28(火)は「SB&企業の連携推進事業」成果共有・交流で三重県松阪と続く。(2012.2.24 岸田真代)



#### 事務局だより

1月27日の「企業・NPO等・行政 協働ネットワークフォーラム」。今年度最大のビッグイベントに、お正月明けから事務局はフル回転で準備に走りまわりました。そして主催の愛知県、協働ネット会議の構成員さんたちや、ボランティアさんにもご協力いただき、お陰様で、当日は300名を超える方がご来場。盛況のうち無事終了することができました。フォーラムをきっかけに協働の芽が出始めている、という報告が、この日出会った多くの団体さんから届いています。今後の実りに大いに期待しながら、私たちにできるサポートをさせていただきたいと思っています。「サクサク」の知らせが待ち遠しいこのシーズン、新たな協働の開花宣言ももう間もなくと「春」が恋しい今日の頃です。(水野)



# PSC Report 8

## パートナーシップ・サポートセンター

### Vol.82

発行 特定非営利活動法人  
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)  
〒464-0067 名古屋千種区池下1丁目11番21号  
サンコート地下4F  
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407  
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp  
発行人・岸田真代

### 愛知県新しい公共支援事業「協働&協創型ネットワーク促進事業」 企業・NPO等・行政 協働ネットワークフォーラムに 316名超が参加!!

1月27日(金)ウィルあいちにて「企業・NPO等・行政 協働ネットワークフォーラム」(12:00～17:00)を開催しました。県内の32市町村から、企業やNPO等、行政の職員316名が参加、閉会まで活発な交流が続きました。

本フォーラムは、協働ネット会議(経済団体、行政、NPO等にて構成)での協働の取り組みとして実施。10月から意見交換等を通じ検討を進め、地域の課題解決に関わる担い手の『出会いと交流の場づくり』として開催しました。

ステージは、愛知県社会活動推進課長の挨拶の後、全出展者が登壇しにぎやかにスタート。『「新しい公共」がめざす協働とは』をテーマに、早瀬昇氏(内閣府「新しい公共」推進会議構成員)が基調講演。対話シンポジウム(コーディネーター PSC岸田代表理事)では「はじめよう。協働で創る新しい地域社会」をテーマに、遠野まごころネットの協働事例等を紹介。企業、NPO等、行政それぞれのパネリストが協働の取り組みや地域での協働を進める上での課題について意見交換しました。

38社・団体が出展したブースでは260件を超える交流による商談等があり、その後、幾つかは協働事業として進みつつあります。参加者からは「会場に来て、企業との協働が見えてきた」「NPO等の取り組みやニーズがよくわかった」など協働相手への理解や、「ミッションの再確認ができた」といった団体運営へも好影響があったとの声が寄せられました。「業種やセクターを超えてたくさんの人たちに出会えるこのような交流の場を、今後も続けてほしい」。アンケートには、企業、行政、NPOともに継続を求める声が多くありました。(下平)※フォーラムの詳細は2面、3面に記載。

▲終了後に撮影した記念写真。みなさんの表情は、充実感でいっぱい。

▲全出展者が登壇。ステージから熱気があふれたオープニング。

▲会場設営は協働ネット委員のみなさんが協力して行いました

▲企業、NPO等が参加したコラボセッション。「意見交換 することって大事」

▲途切れることなくブースに来談があり、「協働マッチングボードを見る時間もなかった」という出展者も。

### 基礎からの丁寧な解説に納得 NPO法人会計学習会を開催

2月22日(金)、PSC主催「NPO法人会計学習会」が開催されました。講師には専門委員として今回のNPO法人会計基準の策定に加わった税理士・早坂毅氏をお招きしました。

今回の学習会は2部構成で、15:00からの1部ではNPO会計基準の概要の解説が行われ、おもに管理費と事業費について会計の初歩から丁寧な説明がありました。17:30からの2部では、会計と認定NPO取得との密接な関係が理解できる内容でした。NPOにて運営や会計を担当されている方々のほか会計専門家にいたるまで27名の参加がありました。豊富な資料と簡潔な説明により会計の重要性と会計基準の意義、そして認定NPO取得の仕組みまで理解が深まりました。

パートナーシップ・サポートセンターは、みなさまからの会計、認定申請などの相談を受け付けておりますのでお気軽にお問い合わせください。(阿部)

# PSC 主な活動2012年1月~2月

- 1/5(木) 仕事始め、(株)二和印刷紙業第1回CSR研修②
- 1/6(金) 「新しい公共支援事業」協働相談(名古屋)①
- 1/10(火) 「新しい公共支援事業」協働ネットワークフォーラム ブース出展者説明会
- 1/12(木) 「新しい公共支援事業」第3回協働ネット会議
- 1/13(金) PSC新春合宿(〜14日)⑥
- 1/14(土) 第4回PSC拡大理事会⑥
- 1/16(月) 「新しい公共支援事業」協働ネットワークフォーラム パネリスト打合せ
- 1/17(火) 愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」第2作業部会、「新しい公共支援事業」協働相談(小牧)① 福祉医療機構に講師派遣
- 1/18(水) なごや環境大学ゼミ面接
- 1/19(木) カフェ・アイリス運営会議
- 1/20(金) 「企業とNPO協働のフェスタ」講演(京都)
- 1/21(土) 「運営カパワーアップ研修」第5回③
- 1/24(火) 太陽電化工業(株)第16回CSR委員会
- 1/25(水) 「SB&企業の連携推進事業」第6回検討会議⑤
- 1/26(木) シニアボランティア会議、南部薬品(株)第9回CSR委員会、「SB&企業の連携推進事業」第3回ハンズオン支援(京都)⑤
- 1/27(金) 「新しい公共支援事業」協働ネットワークフォーラム①
- 1/28(土) 尾張旭市市民活動促進助成事業候補選定会議(中間報告会)
- 1/30(月) PSC新春交流会⑦
- 2/3(金) 「新しい公共支援事業」協働相談(日進)①
- 2/7(火) 「運営カパワーアップ研修」実務者ミーティング(川崎)
- 2/8(水) 第28回名古屋緑化基金運用委員会、「パートナーシップ大賞」運営委員会、南部薬品(株)協働推進会議、「新しい公共支援事業」協働相談(名古屋)①
- 2/10(金) 「SB&企業の連携推進事業」第3回ハンズオン支援(広島)⑤、SAVE JAPANプロジェクト説明会(大阪)
- 2/14(火) (株)ドライバーサービス第1回CSR研修、(株)真誠第1回CSR研修②
- 2/15(水) 「SB&企業の連携推進事業」成果共有・交流(栃木)、「SB&企業の連携推進事業」第3回ハンズオン支援(三重)⑤
- 2/16(木) 「三井物産SHD」出席
- 2/17(金) 「新しい公共支援事業」第4回協働ネット会議、愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」
- 2/19(日) おうみ未来塾運営委員会
- 2/21(火) 「SB&企業の連携推進事業」成果共有・交流(京都)⑤
- 2/22(水) NPO法人会計学習会(PSC)、カフェ・アイリス運営会議
- 2/23(木) 尾張旭市「職員NPO基礎研修」、シニアボランティア会議
- 2/24(金) 南部薬品(株)第10回CSR委員会
- 2/25(土) 「SB&企業の連携推進事業」第7回検討会議・第2回専門家会議⑤
- 2/28(火) 「SB&企業の連携推進事業」成果共有・交流(三重)⑤、太陽電化工業(株)第17回CSR委員会、「新しい公共支援事業」協働相談(日進、名古屋)①

## 1

### 企業・NPO等・行政 協働ネットワークフォーラム

#### ■展示ブース・アピールタイム

「NPOと企業の協働」をめざして展示ブースは終日大賑わい。ステージプログラムが始まって、ブースでの打合せが続くほど大変熱気を帯びていました。動画を流す団体、作品を飾る団体、体験コーナーを設けた団体など、ブース展示には目を引く工夫がいろいろ。入念にブース準備をする様子から、このフォーラムに対する熱意を感じた瞬間です。どのブースからも「協働したい」という意気込みが感じられました。



出展者のアピールタイムでは、ラップや吹き矢の実演などさまざまで、どれも興味深い内容でイベント参加の方達もメモを片手に真剣に見入っていました。(大谷)

#### ■協働マッチングボード&協働相談

12時のブースオープンとともに、出展者のみなさんが工夫を凝らした「求む!協働パートナー」の用紙をマッチングボードに貼り始め、あっという間にボードはいっぱい。最終的には75のアイデア提案がボード裏面にまで貼り出されました。ボード前は熱心に用紙を覗き込む人が絶えず、「この団体さんと話したいけど、どうしたら会えますか?」「知人を紹介したいけど、そんなことを書いてもいいですか?」など、スタッフへの質問もひっきりなし。



また、協働相談には、「どうやって協働相手を探せばいい?」などの相談や、「協働したいと提案しましたが、どうやって進めたらいいのかわからない」と企業とNPOと一緒に来られる方もありました。(山崎)

## 2

### ステークホルダー・ダイアログ(SHD)及びCSR推進による中小企業の活力向上事業

#### 新規参加企業3社・CSR推進にむけ着実に前進

新年のトップバッターは(株)二和印刷紙業。1月5日、ホテルの大会場を借り切ったの決起大会を機に、もう一度全社員によるダイアログをとる要望で、PSC市川理事をファシリテーターに「CSR活動テーマ」について議論が展開されました。提案の内容は具体的な予算にまでおよび、質疑応答が会場に飛び交う白熱ぶりでした。



▲(株)二和印刷紙業

2月14日、(株)真誠では「経営改善検討会」を開催。役員・幹部クラス等、各部署の代表が参加し、PSCがまとめた経営改善提案書の説明に続き、岸田代表の進行で提案に沿ったCSR推進についての具体策をワークショップで検討。各部署ごとに発表し情報共有を図りました。



▲(株)真誠

同日、(株)ドライバーサービスでは「CSR研修」を開催。CSRとNPOの講座と、改善提案にあるテーマ「サービスの見える化」について、ファシリテーター山崎氏によるワークショップを実施し、実現可能な提案が出されたのと同時に、ステークホルダーとの合意形成の重要性を再認識しました。



▲(株)ドライバーサービス

3社はこれからCSR委員会を立ち上げ、具体的な活動に向けて準備をしていくことになります。(成瀬)

## 3

### 環境NGO・NPOのための『運営カパワーアップ研修』

#### 連携・協働に向けた企画プレゼンを実施し、研修は終了

「新しい社会を担う環境NGO・NPOになるために、組織の運営力をアップしよう!」を合言葉に、2011年10月から2012年1月の間に計5回の研修を開催しました。

まず組織と活動を客観的に把握するために、リーダーシップ研修、先進事例の紹介、ステークホルダー基礎研修、協働基礎研修などを実施。第4回から他の主体との連携・協働に向けた企画づくりを進め、最終回ではプレゼンテーションを行いました。

講座アンケートでは、「他の団体の活動を知り、協働するきっかけになった。自分を知ることができた」「ネットワークを活かすことや、誰と協働していくのを見えるようにしたい」など、積極的な感想が多く出されました。今回の研修で学んだことをそれぞれのフィールドでどのように活かしていくのか、今後の展開が楽しみです。(松橋)



▲プレゼンに真剣に聞き入る参加者

### 協働&協創型ネットワーク促進事業



#### 基調講演「新しい公共」がめざす協働とは

早瀬昇氏(内閣府「新しい公共」推進会議構成員)



「新しい公共」とは、今まで役所でやっていたことを民間、地域に関わる一人ひとりに参加してもらい、みんなで応援しようという趣旨で、支え合いと活気のある社会をつくるための当事者たちの「協働の場」です。「新しい公共」のキーワードは「居場所」「出番」「絆」と「当事者」。「新しい公共」の議論をする時には、この「当事者」というキーワードをどう捉えるかが非常に重要で、活動することによって多くの市民が「当事者」になります。

「新しい公共」支援事業のガイドラインの中にあるマルチステークホルダー・プロセス。何かの施策を決める時に、ステークホルダー(利害関係者)が集まり、みんなが対等の関係で意見を交換し、みんなで合意して決めるしくみです。「変える」主体は「行政」ではなく「市民」です。行政に文句を言うだけで済ませないで、市民が居場所と出番を見つけ、自分たちで多彩に取り組む。さらに言うと、市民や企業の力を信じて「市民や企業と共にまちを変えよう」という意欲を持った行政職員が力を発揮する。それが、私たちがこれからめざす地域づくりではないかと思えます。(講演より抜粋)

#### ■対話シンポジウム「はじめよう。協働でつくる新しい地域社会」

地域における「協働のネットワーク」づくりの事例発表として、被災地支援ボランティアネットワークの拠点(N)「遠野まごころネット」理事長 多田一彦氏より震災後の状況と取り組みについてお話いただいた後、(N)フロンティアとよはし理事長 河村八千子氏、東海ゴム工業株式会社貢献室室長 戸成司朗氏、一宮市企画部地域ふれあい課 川合信嘉氏らパネリストを交え、愛知県における協働ネットワークづくりへの取り組みについて討論しました。

地域で協働を進めていくには、行政だけではなく地域のさまざまな組織をどう巻き込んでいくかがポイントで、たとえば、①自分たちの活動のためにでなく、目的を見据えて手をつなぐ。②つなぐ時は、それぞれの団体が強みを発揮できる体制をとる。③企業が地域で活動を行う時に、地域のさまざまな組織と一緒に取り組むという方針を明確にするなどのヒントが紹介されました。(下平)



## 4

### 経済団体(等)を巻き込む「SB&企業の連携」推進事業

#### いよいよ大詰め、成果共有・交流事業へ

昨年5月にはじまった経済産業省SB・企業連携支援機能強化事業「経済団体(等)を巻き込む「SB&企業の連携」推進事業」もいよいよ大詰め、成果共有・交流事業に入りました。中間支援NPOと地域経済団体が思いをひとつに、次年度の協働事業開催に向けてキックオフ!

1月26日(木)には、きょうとNPOセンターで、2月10日(金)には、ひろしまNPOセンターで成果共有・交流事業の企画をたてる第3回ハンズオン支援が行われました。どちらも今回の事業を通じて中間支援NPOとの連携を強めた地域経済団体も同席しての企画打合せになりました。「協働アイデアコンテストを実現しよう!」「有意義なマッチングイベントで協働を実現させたい!」など経済団体の熱い期待が寄せられました。

2月15日(水)には、松阪Mブリッジで第3回ハンズオン支援、



▲1月26日きょうとNPOセンター第3回ハンズオン支援



▲2月15日三重Mブリッジ第3回ハンズオン支援



▲2月15日とちぎボランティアセンター成果共有・交流事業

### 協働個別相談会

#### 協働相手探しへまず一歩

「協働&協創型ネットワーク促進事業」では、NPO等を対象に11月より「協働なんでも相談会」を、尾張、名古屋、三河にて開催しています。

相談内容で多いのが「協働アイデアをどう事業化するか」。協働を希望する相手と課題が共有できるかをヒアリングし、事業の枠組みと役割分担を考えるまでの段階で、何度もキャッチボールをしながら一緒に考えています。

1月27日(金)の「協働ネットワークフォーラム」の後の相談では、「フォーラムでの出会いがきっかけで、思いがけない協働アイデアが持ち込まれた」「これを機会に、団体情報の公開や活動紹介のツールもしっかり作りたい」といった具体的な展開について相談が進展。協働なんでも相談を通じて発見した「協働の芽」を、関係者の方々とともに大切に育てていきたいと思えます。(下平)

